

とよの



議会 だより

第126号

平成30年7月25日発行



6月議会

6月定例会議報告	2P
7月会議報告	2P
一般質問	3P
議会報告会報告	8P
施設組合議会報告	11P

東ときわ台小学校 運動会
平成30年6月2日

6月定例会議報告

平成30年6月4日～6日

平成30年6月定例会議は、6月4日から6日までの3日間の日程で開催しました。提案された案件は、11件（報告5件、条例改正4件、補正予算1件、その他1件）でした。本会議で審議し、採決しました。

報告			
2号報告	専決処分の報告(税条例改正)	地方税法等の改正に伴い、所要の改正を行うものです。	
3号報告	専決処分の報告 (国民健康保険税条例改正)	地方税法施行令の改正に伴い、所要の改正を行うものです。	
4号報告	専決処分の報告 (平成29年度一般会計補正予算)	既定の歳入歳出予算の総額に1270万2千円を増額し、それぞれ67億3082万7千円とするものです。	
5号報告	平成29年度一般会計予算 繰越明許費繰越計算書報告	29年度内に事業が完了しなかった戸知山調整池浚渫土砂等撤去事業、吉川消防分団詰所等移転新築事業のうち、29年度に執行した費用を除いた額を本年度に繰り越すものです。	
6号報告	平成29年度下水道事業特別会計予算 繰越明許費繰越計算書報告	29年度内に事業が完了しなかった吉川消防分団詰所予定地の下水道整備事業費用全額を本年度に繰り越すものです。	
条例改正			
31号議案	税条例改正	生産性向上特別措置法に基づく認定先端設備等導入計画に従って取得した償却資産に係る固定資産税の特例措置を定めるものです。	全員賛成 可決
32号議案	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例改正	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、代替保育の提供に係る連携施設の確保等について所要の改正を行うものです。	全員賛成 可決
33号議案	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例改正	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、放課後児童支援員の資格の要件の拡大等を行うものです。	全員賛成 可決
34号議案	介護保険条例改正	介護保険法施行令の改正に伴い、規定の整備を行うものです。	全員賛成 可決
補正予算			
36号議案	平成30年度一般会計補正予算	既定の歳入歳出予算の総額に590万8千円を増額し、それぞれ65億8090万8千円とするものです。主な内容は予防接種再接種事業や訴訟費用などです。	全員賛成 可決
その他			
35号議案	損害賠償請求に係る訴えの提起	〈訴えの趣旨〉相手方が木代地内において行った採石行為及び残土搬入行為に関し、町所有財産の毀損及び債務不履行により生じた損害金5723万5680円及びこれに対する平成27年12月27日から支払い済みまで年5分の割合による金員の支払いを求めるものです。	全員賛成 可決

7月会議報告

平成30年7月6日

37号議案	平成30年度一般会計補正予算	6月18日に発生した大阪府北部地震により、小中学校内にあるコンクリートブロック塀等の撤去、改修工事に伴う費用等です。	全員賛成 可決
-------	----------------	--	---------

大規模災害に備え 復興支援と道路



秋元 美智子

**災害ボランティア
受け入れ体制づくりを**

問 阪神淡路大震災を教訓に、万が一に備え、各自治体は復興支援に駆けつけたボランティアの受け入れ体制づくりに努めているが、豊能町は「その窓口を社会福祉協議会が設置する」と地域防災計画でしながら、何の働きもしていないことを先の3月議会で指摘した。

答 社会福祉協議会と協議に入ったところです。



豊能町地域防災計画
安心・安全のために

問 池田市は、「災害ボランティア設置等に関する協定書」を市社会福祉協議会と締結し、業務内容や費用負担、物品確保などシミュレーションして確認している。豊能町は、社会福祉協議会と協定書を締結する予定か。遅くともこの夏までには締結して欲しい。

答 現段階では未定です。

**国道477号線
代替幹線道路にむけて**

問 国道477号線、一の鳥居の手前は、川と崖

に挟まれ道路拡張が難しく、落石の危険もある。

しかも箕面トンネルや新名神開通によって格段に交通量が増えている。豊能町都市計画マスタープランでは、大和団地との間に代替幹線道路案を考えているが、用地買収にむけて動いているのか。

答 今年に入って所有者と3回交渉をさせていたできました。次回は土地の鑑定の結果など踏まえ7月上旬ごろを予定しています。

来るべき高齢化社会に 備えて



中川 あつし

高齢者の人材の活用について

問 町独自の人材バンク制度を設立し、シルバー人材センターとリンクさせることで高齢者の人材活用につなげてはどうか。

答 人材バンク制度は高齢者の人材活用には有効な方法だと思いますので、シルバー人材センターに提案していきます。ただし、シルバー人材センターは平成26年に法人化されて間もないため、スキーム（基本構想）作りも含

め人材バンク制度構築の判断については時間を要するものと思います。

成年後見制度について

問 成年後見制度の利用者が少ないとの全国データがある。多くの住民の皆様を知っていたく必要があると思うが。

答 町内の福祉関係機関の職員で構成する豊能町権利擁護連絡会（包括支援センター、健康増進課、保険課、社会福祉協議会、在宅介護支援センターなど）において、後見が必要と思われる該当者がお

られる場合は、相談するようになっています。

成年後見制度促進計画について

問 国の成年後見制度促進計画では、家庭裁判所との連携のために司法書士や弁護士などを含めた「地域連携ネットワーク構築」とある。町はどのように対応していくのか。

答 本町には弁護士会などの団体が単独に存在しないため、複数の市町をまたぐ広域連携での設置に向け、大阪府の協力のもと検討していく考えです。



更なる高齢化で重要となる成年後見制度

問 厚労省が昨年度の人口動態統計を発表した。我が国の昨年の合計特殊出生率が1・43で、出生数は94万6千人と100万人の大打を切った。豊能町の人口は2万人を切り、合計特殊出生率は、0・82で全国ワースト2です。国立社会保障・人口問題研究所の予測では、2040年の豊能町の人口は約1万2千人で、合計特殊出生率が0・71、

消滅都市のきざし

合計特殊出生率0.82の具体策が必要



小寺 正人

大阪府下の中でも非常に悪い数字です。

このままでよいのか。

これが豊能町の未来だと胸を張って言えるようなまちづくりを自信を持ってやっているか。

答 まち・ひと・しごと創生総合戦略とアクションプランを立ち上げ、行政だけでなく地域住民や事業所などさまざまな人が一丸となってこれまでの仕組み、考え方を変革していき、アイデアや創意工夫を通じて人口減少、超高齢社会に対応していきます。住民と行政が連

携して機能するならば、本町の未来にも光は差すと考えています。

問 AI・ロボット化・IOT（モノのインターネット）で、20年後には現存する職種の49％が消失し543万人が影響を受ける試算されている。AI・ロボット・IOTを活用していく検討をしているのか。

答 本町での活用の仕方や本町の風土、土壌に合うのか、投資に見合う効果があるのか、今後勉強を続けていく必要があると認識しています。



具体策なければ消滅自治体の可能性

太陽光パネル問題について



寺脇 なお子

太陽光パネル条例について

問 新光風台2丁目の西側に隣接する兵庫県川西市で、約5000枚の太陽光パネルを住宅地の間に設置しようとする計画があり、木代では、7500枚の太陽光パネルの設置計画があります。事業用の太陽光パネルは広大な設置場所と電柱への接続が必要なので、送電設備のコストが安上がりになるため、住宅地の間近が狙われやすく、住



新光風台4丁目太陽光発電の現場

環境への悪影響、防災機能の低下などを懸念する近隣住民と事業者との間で、トラブルが生じる恐れがあります。豊能町は、都会に近い自然環境に恵まれていることが町の最大の魅力です。新光風台4丁目でも、既にトラブルが発生しており、新たな設置計画がある豊能町こそ条例制定が必要であると住民の声が高まっています。豊能町の条例制定についてどのようにお考えなのか。

答 今のところ予定はしておりませんが、近畿経済産業局・大阪府連携協力会議の中で、情報共有し、連携協力し、地方自治体が策定する条例との関係性も含めて検討してまいります。

農業者の高齢化後継者不足について

問 今後、豊能町では、農業者の高齢化や後継者不足が深刻であるが、どのような対策を考えているのか。

答 平成29年度から豊能就農支援塾を開催しており、遊休農地を防いでいきたいと考えています。

高齢者に優しい施策を



すかの えみこ

介護保険の 認定について

問 初めて認定していた

だく時に審査の判定・結果通知・ケアプランの作成などに大変時間がかかっています。すぐに利用できる仕組みは作れないのでしょうか。

答 基本的には申請をい

ただいてから認定がおりるまで30〜40日かかっているのが現状です。事前に地域包括支援センターや居宅介護支援事業所にご相談いただければ暫定



高齢化を支える保健・医療・福祉の拠点

地域包括支援セン ターの運営

利用が可能です。認定結果が出ますとその申請日に遡って有効となり、介護度の範囲内で給付を受けることができます。

認知症対策SOS ネットワーク事業

問 西地区と東地区で模

擬訓練をされました。事業の総括をしていますか。

答 訓練の後、参加者と

一緒に振り返りをしました。様々な課題が残っていると思います。訓練を繰り返し、迅速に行方不明者の捜索に対応できるような形になればよいと思っています。

問 人員や運営を定める

条例がありますが、人員が足りないと思います。

民間委託も視野に考える必要があるのでは。

答 運営には高齢者、要

介護者、要支援者の増加・相談件数の増加・困難事例の増加などから、さらなる適切な人員体制を確保する必要がありますと認識していますが、なかなか人員が見つからない現状です。現在は直営で機能の充実に努めたいと思っています。

子育て応援の拡充を



なが谷 幸弘

未就学児乳幼児等医療 費の所得制限の撤廃を

問 子育て環境の拡充で

子育て世代の転入を促進するためにも、街路灯などのLED照明化により捻出した250万円／年の財源を活用して、未就学児までの所得制限を撤廃すべきではないか。

答 29年度の決算見込み

では財政調整基金を取り崩さなければならぬ状況のため、新規事業の取り組みについては慎重にならざるを得ません。

箕面森町企業団地開設 に伴い町道の府移管を

問 箕面森町企業団地開

設に伴い、町道を通行する大型トラックが増加することは十分に予測される。東ときわ台8丁目から国道477号線の吉川交番所までの町道については速やかに大阪府に移管し、府が安全対策・維持管理などを行うべきであると考えがどうか。

答 池田土木事務所から

は今年度末までに、府道豊能池田線として供用を開始すると聞いており、6月中旬から下旬にかけ

て土木事務所と協議する予定です。

消防ポンプ車の準中型 運転免許取得の支援を

問 昨年3月の道交法改

正により、普通免許で運転できるポンプ車の総重量が3・5tに引き下げられた。消防活動に支障が出ないように、3・5t以上のポンプ車を運転できる準中型運転免許取得費用の助成を考えるべきではないか。

答 特別交付税の措置率を見ながら、助成制度については検討していきたいと思っています。



安心して子育てできる環境整備を

新義務教育の取り組み



西岡 義克

**教育力日本一は東西
独自の教育にあり**

問 資源のない国日本、大企業のない豊能町、共に教育でまちおこし、国づくり。教育大国日本、豊能町教育力日本一と言う事は、地域、学校、家庭の教育力が問われているわけだ。

西と東における地域の事前の対応として、地域・保護者・住民の意識調査や検証をしたのかどうか、伺う。

保護者、首長。議員の責任は重大

答 現時点ではしておりません。今後、保護者や地域の方に方針を説明し、一定理解をいただきまして準備的なものをより具体的に、より詳細に取り組むのが進め方と思っています。

**子どものための最高の
小中一貫校の創設を**

問 教育力日本一は西地区だけでよいのか、東地区もやらないといけない。これだけの自然がある、この自然の中で子どもを育てるということは大変

すばらしい。この小中一貫校は東に学べというふうになると思う。

町に誇りを持ち、自信を持って、自分を育ててくれた心のふるさと、学校、地域をつくるのが先決であると思うが。

先ず、教育問題の根本的解決と対応が最優先

答 豊能町に誇りを持ち自信を持って生き抜く子どもということで、「とよの学」を創設し、豊能の良さを育む将来にわたってできる教育環境をつくっていくということがございます。



東西に箕面以上の日本一の小中一貫校を

業者任せの一貫校道の駅 大丈夫か



田中 龍一

**支所など既存施設を業者
任せで撤去するの**

問 「小中一貫校等」の提案可能範囲に現在使用中の施設（吉川支所、ユールホール、駐車場等）が含まれているが、これら施設を撤去することを想定しているのか。

答 事業者が豊能町をよく調べ、色々な提案を示してくる者に新しい小中一貫校等の計画を作ったいただき、撤去を決めて提案を求めたわけではないですが、必要な範囲が

決まれば撤去を考えます。

問 豊能町「道の駅」基本構想の敷地の中に国保診療所、中央公民館、旧双葉保育所があるが、撤去することか。

答 「道の駅」の建設に支障があると、敷地が決まれば、撤去することになります。

方針無しで進めた2計画で町財政が破綻か

問 いずれの計画も、敷地が未確定、収支計画も無いなど、このような段階で設計を事業者に公募してしまった。さらに問題は、使用中の施設を解



既存施設も含むずさんな敷地設定で公募

体し、そこへ「小中一貫校等」や「道の駅」を新たに建設し、先の解体した施設を再建築することだ。そんな財政的余裕が町にあるのか。

答 財政計画を立てて、既存の施設の代替措置も含めて考えていきます。

問 「小中一貫校」の通学バスの費用や「道の駅」の維持費など、毎年必ず発生する莫大な経費も含めて検討しているのか。

答 単年度の持ち出しや将来の負担も少なくなるように財政計画をもって財源を措置していきます。

豊能町の良いところ を发掘



長沢 せいしゅう

伊能忠敬を教育と 観光戦略に

問 伊能忠敬は200年以上前に日本地図の先駆けとなった大日本沿海輿地全図を完成させている偉人で、豊能町の牧と木代に測量に入っています。今年は没後200年で、豊能町はゆかりのある地です。教育大綱の中にある「とよの学」に伊能忠敬を取り入れる考えはあるか。

答 歴史学習もあり、それとの関連をさせながら、



伊能忠敬



日本沿海輿地全図

どのような形で入れていくか、十分検討していきたいと思っております。

問 歴史に残る偉人の足跡を観光につなげてはどうか。

答 新しい観光の1つになり得ると思っています。高山右近の観光戦略とあわせて、どのように新しい観光に入れられるか今後よく検討して進めたいと思います。

戸知山を四季の感じ られる場所に

問 戸知山の利用に当たり法の規制があり、計画が進んでいないと思うが、

ただ管理するのであれば、植樹はできないのか。費用は寄附で募り、植樹する際に、寄附された方の願い事やメッセージなどを書いたプレートを目立てて、木の成長も見守ってもらうことはできないか。

答 活用したいという気持ちは持っておりますが、非常に荒れており、獣害対策やインフラの整備をしなければならぬので、町が投資するのではなく、民間の方々のお力を借りたいと思っております。

住民の発信に応える まちへ



高尾 靖子

保幼小中一貫教育は 意見を反映した計画に

問 4月に保幼小中一貫教育施設基本計画策定と基本設計業務委託について業者募集した。重大な政策課題を保護者・地域住民へ説明せずに学校統廃合ありきは問題だ。国の公共施設等総合管理計画と言う押し付けもあるがプロセスが重要だ。

東地区に学校が無くなることについて、地域の方は「町の財産である緑豊かな環境を活かした学

校を守ってほしい」の声や、まちづくりの専門家も東地区に1校は必ず残すべきで、地域は疲弊してしまうと言っている。今後、保護者や地域説明会での意見や切実な要望に計画の変更を求める。

ご意見をふまえ 町と協議していきます

答 学校再配置の問題は、10年ほど前から提言があり、議論しました。審議会等のまとめに基づき、

子どもの実態や、将来の状況を鑑みたくうえで町独自で判断したものです。説明会での意見をふ

まえ、よくないということであれば、町と協議して答えさせていたきたいと思っています。

老人福祉センターの お風呂廃止は見直しを

問 老人福祉センターのお風呂廃止は、高齢者施策と矛盾する。お一人暮らしの方など、安全安心に利用できる風呂は継続すべき。

不安解消の事業を検討

答 今後、介護予防の観点から、身体的に虚弱な方の不安を解消する事業が必要と考えています。



学校を残し地域を疲弊させないまちへ

催いたしました！

平成30年5月20日(日)

トピックス(当初予算総額・保幼小中一貫校について・道の駅について)
で健康に暮らせる町づくり・意見交換会



「西地区」

議員12名 / 参加者 28 名

午前 9:30 ～ 11:30

西公民館大会議室

☆[グループ討議のご意見]

☆高齢になり一人暮らしで何かあった時、誰が救急車を呼ぶのか心配で緊急の連絡カードを作って欲しい。

☆体を動かすことで、健康寿命が延び医療費の減少につながる。

☆老後は閉じこもりがちになるので、老人会や趣味の会に気軽に参加する気になるような活動推進。

「学校跡地利用」

☆私立高校を呼び込む。

☆研修所・地域防災センター・福祉介護センター。

「空家の活用」

☆空家問題の啓発活動・定住化の促進。

☆若者を呼ぶ空家の活用。

「住環境の保全」

☆安心して住める豊かな自然を守るため、太陽光発電の条例を作っていたきたい。

☆水道料金が大阪府下で、一番高くなったのはなぜか経過を知りたい。

☆歩道が狭く段差があるので、歩いていると足を取られる方も多く、車いすの通行にも支障がある。

☆ときわ台から東ときわ台に向かう歩道で、こける人が多く高齢者や若者も大怪我をして病院や救急車を呼んだこともあったので町道の整備が必要。

☆防災無線のチェックが必要で活かすことが重要。

「公共交通」

☆免許証返納する高齢者のために、病院・買い物・公共施設への交通網の充実。

☆自動運転バスの導入。

☆能勢電とバスの連携。

「道の駅」

☆道の駅構想の深掘りと住民参加の議論。

☆道の駅は時代遅れでは。

「東地区」

議員12名 / 参加者10名

午後 2:00 ～ 4:00

希望ヶ丘集会所

*[グループ討議のご意見]

*医療機関が少なく、希望ヶ丘内に、病院がなく困っている。国保診療所の診療日は、月・水・

金しかなく、診療時間も短いので、診療所や医療機関を充実させてほしい。

*リハビリ・デイサービスを手軽に利用できるように取り組んでほしい。

*人口が減少していくので、収入が心配だ。財政はどうなるのか。

*一人世帯は、災害が起った時はどうするのか。

*災害時、自治会と連携して、防災無線を活用してほしい。

ほしい。

*認知症予防のため百歳体操やテレビ体操をする。

*健康づくりのためスポ

ーツ広場の有効活用。

*買い物代行サービスがほしい。

「公共交通」

*車に乗れないと身動きがとれないので、町として取り組んでほしい。

*買い物、病院、公共施設(ユーベル・図書館・

シートス・福祉センター)へ乗り換えを2〜3回しないといけないので、東西地区の移動手段の再考。

*高齢化による交通手段の確保。

*リレー便は、1〜2人しか乗っていないので、成果がわからない。

「住環境の保全」

*防犯カメラの設置。

*歩道に椅子を設置するなど、住民間のつながりを持つための場所づくり。

*残土問題で環境が悪くなっている。

*全員が自治会に参加。

*水道の値上げを抑制するための案はないのか。

*水道値上げについての検討会がない。

議会報告会とは

豊能町議会基本条例の規定に基づき、豊能町議会が主催して開催するものです。

平成30年5月20日開催の議会報告会の内容については、豊能町ホームページ「豊能町議会」から閲覧できます。

ご参加賜りました皆様に感謝申し上げます。

豊能町議会議員一同



議会報告会を開

【報告内容】①財政・人口の変遷について ②3月定例会議『グループ討議』テーマ・高齢者が安心し

意見交換会

豊能町人口減少について

人口増加対策は色々な意見があるので、やれることからやるべき。町税は30年度で、約1億6千万円減っている。経費の削減を議会も指摘し、削減すべきである。

ダイオキシンのこと

ダイオキシンの処理については、議会と住民が協力して解決できるようにしてほしい。目的実現のために住民も含めて行動をすべき時ではないか。

ご意見を受けて

議会の中でも、道の駅構想・保幼小中一貫校・公共施設の跡地利用・庁舎の問題、ダイオキシンなどの議論をすすめてい

るところです。今回の報告会で様々なご意見をいただきましたので、しっかり議論を重ね、行政に提言してまいります。

保幼小中一貫校について

一貫校のプランで吉川中学校の敷地のほか提案可能範囲に、ふれあい広場・ユーベルホール・図書館・保健福祉センター・吉川支所などを含んでいるが、既存の施設を残しながら一貫校を考えていただきたいと思っています。

豊能町の一つの財産・魅力として、学校を考えれば、緑豊かな風景の中で校舎が有る一貫校を西地区でも東地区でも構わないので、町の素晴らしい環境を背景にした学校作りをしてもらいたい。

福島県川俣町議会が本町を視察

5月16日、福島県川俣町議会の議会運営委員会（議員5名）・副町長・事務局職員（2名）の計8名の方々が、「町議会における議会運営について」の視察のため来町されました。

本町からは、議長・副議長、議会運営委員会委員長・副委員長、議会事務局職員が対応し、活発な質疑および意見交換が行われました。



訂正とお詫び

議会だより第125号の文中で誤りがありましたので、訂正させていただきますとともに、お詫びいたします。

P.8総務建設水道常任委員会の3段目「平成29年度一般会計補正予算」戸知山の繰越明許の原因と工期についての答弁を次の通り訂正します。

（誤）

【答】 雪で工期が遅れました。業者の不履行で、損害賠償を請求しています。

← （正）

【答】 雪で工期が遅れました。



戸知山の視察

4月6日、豊能町議会で戸知山を視察しました。豊能町の町有地である戸知山は、木代と高山の間にある標高665メートルの山です。一般質問でも戸知山の活用について取り上げてきたこともあり、視察をすることになりました。

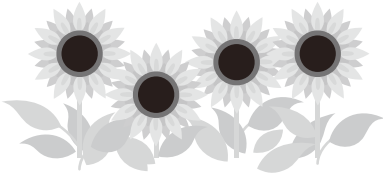
各種法律の規制や、上下水道などインフラが未整備なため、建物の建設などが困難な場所となっています。

そのため、サイクルスポーツやドローン練習場、花見やウォーキングなど建造物を必要としない活用を提案している状況です。

戸知山の入り口にはフェンスが設置されており、中に入ると、過去に開発の手が入っていたため、山の中には車道が敷かれ一部平坦な土地があります。

町としては、民間企業の力を借りて整備していることが望ましいとのことですが、今後も有効活用について、議会としても検討していきたいと思っています。

今回の視察で分かったことは、①車道の両側には自然林が広がり倒木もあり、荒れていた②北側に向けて眺望が開ける場所がある③桜の木が多く存在する④栗の木も一部に見受けられるなどです。これまでも戸知山の活用を検討してきましたが、



戸知山から望む山々

ときわ台駅バリアフリー化整備補助事業の着工のお知らせ

豊能町内の能勢電鉄駅で唯一バリアフリー化ができていない「ときわ台駅」にエレベーターとスロープが設置される予定です。豊能町が補助金を出し、能勢電鉄が工事を行います。工事期間は平成30年7月から12月までの予定です。併せて、改札機の拡幅工事も能勢電鉄が実施し、完成後は車いすでも通行可能な幅員となります。



バリアフリー化予定のときわ台駅



吉川分団消防自動車



吉川消防分団詰所移転工事

老朽化に伴う建て替え工事を行っています。現在の吉川自治会館の敷地から国道477号線沿い（JA跡地）に移転します。移転することによって、災害時、より迅速な対応を行うことができます。今年度中に完成・移転の予定です。この事業は平成29年度中に事業が完了しなかったため、平成30年度に繰り越しています。

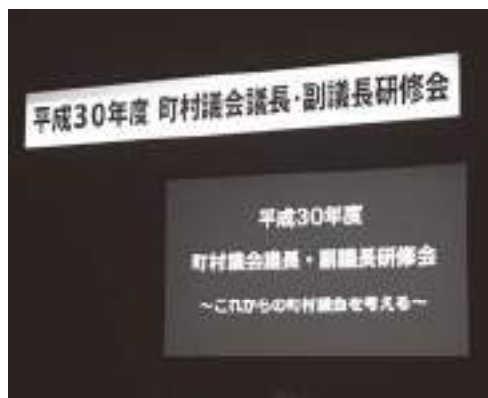
平成30年豊能郡環境施設組合議会 第3回臨時会の報告

さる5月14日、第3回臨時会が能勢町役場にて、1日間の日程で開催されました。内容は次の通りです。

豊能郡環境施設組合が平成27年8月6日、福岡県大牟田市の三池製錬(株)に「特定廃棄物ドラム缶198本」の廃棄物資源化処理契約書を締結し運搬しましたが、地元の反対等の理由により、処理ができず断念しました。この契約不履行に伴い、組合が、三池製錬への運搬に要した経費の返換について、金136万800円で和解したもので、全員賛成で可決されました。

組合議会100条委員会に基づく、高濃度汚染物処理調査特別委員会の報告書を議員全員賛成で承認されているもとで、関係者の証人尋問で虚偽の陳述をしたものと認められたことから、議会議案3件により田中龍一前管理者、前豊能町副町長、前事務局長の3人を大阪検察庁に告発することについて、賛成多数で可決されました。

平成30年度一般会計補正予算の委託料21万6千円は、地方自治法100条9項に基づく上記3者の告発書作成を弁護士に業務委託する費用で、賛成多数で可決しました。



全国町村議会議員・副議長研修会 (平成30年5月28日 東京国際フォーラム)

「平成30年度町村議会議員・副議長研修会」に橋本議長と永谷副議長が出席しました。

第一部・第二部は、山梨学院大学 大学院研究科長・法学部教授の江藤俊昭氏により、第一部では「町村議会議員の議員報酬のあり方 中間報告(全国町村議会議長会)」と第二部では「町村議会のあり方に関する研究会報告書(総務省)」の講演をお聴きし、結論は以下のとおりまとめておられました。

●報酬・定数の削減に対する世論の声や議員のな

り手不足の解消につなげなければならぬ。

そのために・・・

①議会・議員の魅力向上

②住民への情報発信と住民とともに進める議会へ

③町村議会の改革の継続

第三部では、町村議会特別表彰を受けられた3町村が以下のテーマで発表されました。

○長崎県小値賀町議会

「議会の機能の使い道と議会の立ち位置の有効活用」

「小さな町議会の小さな挑戦」

○福岡県大刀洗町議会

「住民に引き合った議会運営と広報づくりを实践」

○徳島県那賀町議会

「議会活性化への取り組み」

「住民から期待される議会を目指して」

今回、各町議会の課題や取り組みを参考に、議員の皆さんと討議をしながら、住民の皆さんに身近な議会となるよう頑張っています。

てまいります。

インターネット配信と録画放映



豊能町では、定例会議ごとにインターネットを通してリアルタイムで一般質問を配信しています。また、録画放映(2週間)も実施しています。次回は、9月の定例会議を予定しています。なお、議会放映配信方式については、これまでのUstream(ユーストリーム)からYouTube(ユーチューブ)に変更しました。

配信/



平成30年9月 定例会議予定

9月3日(月) 9:30～
定例会議開会
9月4日(火) 9:30～
本会議(一般質問)
9月5日(水) 9:30～
本会議(一般質問)

春の運動会



光風台小学校



吉川小学校



吉川保育所



東能勢小学校



東ときわ台小学校

豊能町議会は、全議員から集めた15万円を地震の被災地に贈ることを決め、日本赤十字社を通じて7月6日付で送金しました。

大阪北部被災地に 義援金15万円を送金



6月29日、議場も見学し、議長が議会の仕事を説明しました。ひとりでも多く、豊能町のために一緒に頑張ってくれる若者が育って欲しいと思っています。

東能勢小学校3年生 役場を社会見学

編集後記

6月18日の大阪北部地震・7月5日からの豪雨で被災された皆さまに対し、お見舞いを申し上げます◆いつ発生するかわからない自然災害。発生後の対応は、順番に①自分の身を守る②火の始末・出口確保③わが家の安全確認④隣近所の安否確認・助け合い⑤2～3日は自分で凌ぐ⑥本格的な復旧開始（防災士教本より）とあります◆本格的な復旧開始とは行政の助け（公助）であり、場合によっては数日かかることを意味しています◆今回の地震・豪雨を通し、日ごろの備え（3日分の食糧・水等）も含め、今一度、チェックをしたいと思います◆

広報特別委員会

委員長 菅野英美子
副委員長 中川 敦司
委員 長澤 正秀
田中 龍一
寺脇 直子
高尾 靖子